

議会運営の改革・改善の第一歩

開かれた議会運営を目指して



議席（写真手前）の中央最前列に新たに設けられた質問席で、活発な質問が行われた
（11日、一般質問初日、傍聴席から撮影）

平成24年第2回定例会は、6月7日から25日までの19日間の会期で開催しました。今定例会では、防災対策諸費などを含む一般会計補正予算を始め、固定資産評価審査委員会委員、公平委員会委員、教育委員会委員などの人事案件などが提案され、市長から提案された議案22件のうち21件を可決（承認・同意）とし、1件を否決としました。また、6月11日、12日には、8人の議員が一般質問に立ち、市政を質たしました。

改革・改善1

今定例会から、本会議において、提出された全議案の内容について、傍聴している方にも提出議案の内容がよく分かるようにすべきとの考えから、提案理由の説明方法を変更しました。

■提案理由の説明

▼これまで

市長が、一括して説明した

▼2回（6月）定例会から

市長が概要を説明し、各部署長が内容を詳しく説明する

改革・改善2

これまで、一般質問は一括質問・一括答弁方式でしたが、要望か質問かが分かりにくいことがあり、答弁漏れが生じやすいことなどから、今定例会から、一般質問を一問一答

方式に変更しました。一問一答方式は個々の質問事項（小項目）ごとに、議員の質問と執行部からの答弁を繰り返すので、答弁漏れがなくなるなど、一般の傍聴者が聴いても分かりやすい形式です。また、質問の回数制限しないことから、1つの事項について深く掘り下げて、納得のいくまで質問ができる方法です。

■一般質問に一問一答方式を導入

▼これまでの流れ

一括質問（壇上）↓一括答弁（壇上）↓再質問（一括、自席）↓再質問答弁（一括、壇上）

*質問は60分以内で、再質問まで。

▼2回（6月）定例会から

質問（質問席）↓答弁（答弁席）↓以降、質問が終わるまで繰り返し

*質問は60分以内で、質問の回数は制限しない。

市議会会議規則の一部を改正する規則（発議1号）

市民に開かれた議会の実現と議会のさらなる活性化のため、第2回（6月）定例会からの一般質問において、一問一答方式を導入することに伴うもので、市議会会議規則第64条中第56条「質疑の回数及び」という部分を削り、質問回数を無制限とするもの。

市議会議員の政治倫理条例に関する条例の一部を改正する条例（発議2号）

同条例（21年9月制定）の一部改正は、より開かれた議会を目指し、議員自らの襟を正し、市民からより一層の信頼を得るため、第4条「契約等に関する遵守事項」の第1項及び第5項中の「2等親以内の血族」を「3等親以内の親族」に改めるもの。

「永年勤続表彰」を受賞

■全国市議会議長会表彰及び感謝状

- ◇ 表彰（議長5年在職、議員20年以上） 野村武勝
（副議長4年以上） 中村 強
（議員10年以上） 戸田見成、古谷庄二
- ◇ 感謝状（地方財政委員会委員） 野村武勝、村田春男

■茨城県市議会議長会表彰

- ◇ 表彰
（議長4年以上、議員20年以上） 野村武勝
（副議長4年以上） 中村 強
（議員8年以上） 関口輝門、加藤吉博



（仮称）「空の駅」整備事業用地の取得（議案55号）

○財産の取得

土地 小美玉市山野地内14筆
面積 24,992㎡
取得金額 1億7,783万円

（仮称）「空の駅」の整備事業用地として土地を取得するもので、賛成多数で可決されました。

教育委員会委員の任命同意（議案64号）

市教育委員会委員の任期満了に伴う人事案件（沼田和美氏の再任）が提出され、賛成少数（反対11・賛成10）で否決されました。

6月定例議会日程

| 日程 | 会議等の主な内容 | 傍聴 |
|-----|---|-----|
| 7日 | 本会議 （開会、議案上程、質疑、討論、採決） | 5名 |
| 11日 | 本会議（一般質問） | 11名 |
| 12日 | 本会議（一般質問、質疑、討論、委員会付託、追加議案上程） | 9名 |
| 13日 | 総務常任委員会 | — |
| 14日 | 文教福祉常任委員会 | — |
| 15日 | 産業建設常任委員会 | — |
| 18日 | 百里基地・茨城空港対策特別委員会 | — |
| 20日 | 広報特別委員会 | — |
| 21日 | 議会運営委員会 本会議 （報告、質疑、討論、採決、追加議案上程、会期延長） | 8名 |
| 25日 | 議会運営委員会 本会議（追加議案上程、討論、採決、閉会） | 9名 |

▶25年9月、茨城空港近くに開業予定の（仮称）「空の駅」イメージ

